

# 指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度

令和元年度

## 1 基本情報

公の施設名	相模原市立あじさい会館(南分室・緑分室含む)
指定管理者名	社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
施設設置条例	相模原市立市民福祉会館条例
施設の設置目的	社会福祉の総合的な推進及び社会福祉活動の育成発展を図り、もって市民福祉の増進に資するため
施設概要	あじさい会館(中央区富士見6-1-20) ホール、講習室、大和室、第1和室、第2和室、第3和室、ボランティア活動室、談話室 第1展示室、第2展示室 あじさい会館南分室(南区相模大野6-22-1 南保健福祉センター内) 高齢者交流室、談話室、情報交換ルーム、ボランティア活動室 あじさい会館緑分室(緑区西橋本5-3-21 緑区合同庁舎内) 平成25年3月18日開所 高齢者交流室、談話室、情報交換ルーム、ボランティア活動室
施設所管課	健康福祉局地域包括ケア推進部高齢・障害者福祉課

## 2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人) (あじさい会館)	151,654	147,195	128,499				
貸館率(%) (あじさい会館)	49.4	47.4	49.4				
利用者数合計(人) (あじさい会館南分)	20,220	20,806	17,280				
貸館率(%) (あじさい会館南分)	45.5	48.2	44.1				
利用者数合計(人) (あじさい会館緑分)	13,725	16,617	15,301				
貸館率(%) (あじさい会館緑分)	34.7	39.6	42.5				
利用料金合計(円)	13,914,166	15,166,119	12,410,750				

## 3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
<b>B</b>	令和元年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、令和2年3月が休館となるなど、指定管理者の運営に起因しない要因が発生した。今後は感染防止対策を徹底しながら利用実績の回復に努めていただきたい。

指標1	
指標名(単位)	福祉団体の利用回数(単位:回)(南分室及び緑分室を除く)
指標式と指標の説明	福祉利用施設の利用回数+福祉団体の一般利用施設の利用回数 あじさい会館を拠点とした福祉活動の推進利用状況を評価するための指標

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(単位)	2,140	2,150	2,310	2,320	2,330	2,340	2,350
実績値(単位)	2,324	2,100	2,223				
達成度(%)	108.6%	97.7%	96.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

#### 4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>S</b>	様々な対象者にむけて、それぞれが関心を寄せるようなイベントを開催しており、施設の利用拡大に努めている点は評価できる。今後も事業を通して利用者の獲得及び福祉の啓蒙活動を行い、社会福祉活動の総合的推進という施設の設置目的の達成に寄与していただきたい。

##### 市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
なし	-	-	

##### 自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
「あじさい会館の日」イベント	2019.9.21	世界アルツハイマーデー普及啓発事業(映画・公演)・1回・326名	
クリスマスコンサート	2019.12.22	ファミリークリスマスコンサート(乳幼児対象)・2回・264名	
ロビー展示	通年	当事者、福祉団体、あじさい大学OB会等の作品等の展示	
クリスマスロビーコンサート	2019.12.10	会館ロビーコンサート(ハンドメイドショップバオバブと共催)・70名	

#### 5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>A</b>	利用者満足度調査については、達成度108.2%という高い水準にあり、前年度と比較しても数値が上昇しており、非常に評価できる。引き続きサービスの向上に努めていただくと同時に、自由意見等から利用者のニーズをくみ取り、迅速かつ適切に対応していただきたい。

##### 利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	利用者へのアンケート調査を実施 時期:令和元年11月～令和元年12月 サンプル件数:1660名
目標値の基準	利用満足度の設問に対する「満足」と「やや満足」の合計の割合

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（％）	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値（％）	97.0	96.3	97.4				
達成度（％）	107.8%	107.0%	108.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

##### その他の取組

取組事項	時期	取組内容
アンケートBOX	通年	館内施設入口にアンケート用紙及び回収箱を設置し、施設の利用、案内表示、職員の対応等について調査している。
主催事業アンケート	各事業実施月	参加者にアンケートを配布し、事業内容、運営に関すること及び今後の事業への要望等について調査している。

## 6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>B</b>	利用料収入が前年度と比較して減少した。収支についても主に業務委託費の増加が影響し、支出が収入を上回っており、財務状況の黒字化が求められる。

施設の収支概要		直近3年間について記載		
		（千円）		
項目		平成29年度	平成30年度	令和元年度
収入（a）		103,728	105,115	105,731
	指定管理料	89,268	89,263	92,090
	利用料金収入	13,915	15,166	13,004
	その他の収入	545	686	637
支出（b）		104,996	106,511	111,451
	人件費	24,930	25,781	25,841
	本社管理経費	0		
	その他の支出	80,066	80,730	85,610
本体事業収支【(a)-(b)】(c)		-1,268	-1,396	-5,720
自主事業収入（d）		332	445	346
自主事業支出（e）		1,027	743	755
自主事業収支【(d)-(e)】(f)		-695	-298	-409
全体収支【(c)+(f)】		-1,963	-1,694	-6,129
備考	・支出の大幅な増加は、消費税及び人件費の上昇に伴う業務委託費の増加による影響が大きい。 ・利用料金収入の減少は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、令和2年3月が休館となったことが影響している。			

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。
---------	------------------------

## 7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施
実施時期	令和2年9月9日

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	加点事由有(下記のとおり)
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	
有	現金管理において、1日に複数回金額確認をしており、適正かつ厳重な管理が行われていることから加点するもの。	

## 8 指定管理者の自己評価

新たな指定管理期間の初年度においても、施設利用者である多くの市民の方々からは「満足」との評価をいただいた。今後も受付、警備、清掃、設備管理、舞台操作等各セクションが連携を図り、利用者の利便性、快適性の向上に努めていきたい。

一方、会館全体の老朽化が著しい中で、施設、備品の故障、不具合も日々生じている。利用者の安全面、衛生面に影響を及ぼす故障等への対応を優先事項としているが、限られた財源の中では適切な維持管理には限界もあり、中・長期の修繕計画の立案と財源の裏付けについては、行政による計らいに期待するものである。

令和元年度決算において生じた約600万円の収入不足については、法人本部会計からの補填により対応したが、今後は正規職員に代わり嘱託職員を任用する等、人件費の見直しを行い、適切な収支となるよう改善を図っていく。

## 9 所管課意見

前年度に続き利用者の満足の割合が9割を超えており、管理業務及び実施事業において利用者の意見や要望を取り入れていることがうかがえ、評価できる。今後も、指定管理者の自主的な取組みや、利用者ニーズの把握によって、市民福祉会館の機能がさらに充実することを期待する。

開館後約40年が経過し老朽化が進んでいるため、市と連携を図りながら計画的な施設修繕等を行い、利用者の安全確保に努めていただきたい。並行して日常業務における巡視点検を詳細に行い、適切な維持管理を実施していただきたい。

## 10 選考委員会意見

成果指標の達成度について、新型コロナウイルス感染拡大防止による休館の影響を除いた場合、目標値を十分に達成していた。今後は状況に応じて、目標値の変更等を検討していただきたい。

利用者アンケートにおいて様々な要望があるが、高齢者及び障害者が多く利用する施設であるため、和式トイレの洋式化等、利用者の安全性や快適性の向上に関わるものについては、優先順位を高くして取り組んでいただきたい。また、アンケートで出された各要望に対して、対応状況等を回答している施設もあるため、あじさい会館においても検討いただきたい。

本年度も新型コロナウイルスが収束していない中、利用者の減少等、運営上厳しい状況であると思うが、あじさい会館を利用することを楽しみにしている方が多くいるため、今後も感染予防等に取り組みながら、適切な施設運営に努めていただきたい。

